

年金業務・社会保険庁監視等委員会(第7回)議事要旨

1. 日時 平成20年1月24日(木) 14:00~15:50

2. 場所 中央合同庁舎第5号館16階委員会室

3. 出席者

(委員会) 葛西委員長 大宅委員長代理 磯村委員 岩瀬委員 住田委員 村岡委員

(総務省) 村木行政管理局長 田部事務室長 横田主任調査員ほか

(厚生労働省) 宮島総括審議官

(社会保険庁) 坂野長官 吉岡総務部長 石井運営部長 中野社会保険業務センター所長

北村統括管理官 鈴木運営部企画課長 松岡運営部医療保険課長

4. 議事次第

(1) 厚生労働省・社会保険庁からのヒアリング

(2) その他

5. 会議経過

○ 社会保険庁から、工程表に基づく作業の進捗状況等について、以下の内容を中心とした説明があり、これに対して質疑応答が行われた。

・ 名寄せできずに残される記録は1975万件と推計され、これについての解明作業は4月以降も続けていくとの説明があった。

・ 年金受給者の第1次名寄せにより記録が結びつく可能性がある方への「ねんきん特別便」については、これまで累計73万件を送付し、未回答や訂正なしの回答の方には更に内容の確認や入念な照会等を行うとの説明があった。

これに関し、特別便の回答についての現場での適切な対応や国民の側に立った丁寧なPRをすべきとの指摘があり、これについては、対応マニュアルを早急に改訂するとともに、PRも工夫し、より適切な対応を図っていきたいとの回答があった。

・ 氏名等が収録されていない記録(524万件)については、99%の補正が終了し、残りの約6万件については、2月から引き続き調査するとの説明があった。

・ このほか、1430万件、36万件の記録については、現在、旧台帳からの転記作業中であることや、コンピュータの記録と台帳等との突合せの検討状況についての説明があった。

○ 次回の委員会は、2月26日(火)14時から開催予定。

[文責 総務省(事務室)]